

## 自己評価（前年度）

※「幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価」のチェック項目を用いて自己評価しています

幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価			
データ 分析 表	データ表		<b>データグラフ</b>
	内容	項目数	
	「乳児保育」	15	
	「3歳未満児保育」	32	
	「3歳以上児保育」	53	
	「教育保育の配慮事項」	16	
	「健康・安全」	29	
	「子育ての支援」	18	
	「職員の資質向上」	9	
計	172		
平均	4.41		
総合 評価	<p>お互いの不足分をカバーしそれぞれの力を十二分に発揮し教育保育を実施している中に、今年度は新人職員2名を迎えることになった。最初は互いに遠慮や気遣いをしてきたが徐々に信頼がうまれたことで、不足分をカバーし合い円滑な業務の遂行に向けて各々が努力を重ねることができた。</p> <p>今後も互いをリスペクトしチームでの保育を高めていきたい。</p>		

## 事業計画（今年度の重点目標）

項目	内容
受容的環境の確立	<p>人的・物的両面において、受容的環境を確立し、子ども・高齢者・障害者が信頼感と安心感を持って生活出来ているかの検証・改善と報告</p> <p>・質の向上委員会を中心に人権擁護のためのセルフチェックリストをもとに話し合いを行い「養護と教育」について深めていく（年3回）</p>
保護者等のニーズの把握・理解	<p>保護者や家族の声を聞き満足度を把握し、職員参加の下、保育・介護・障害福祉サービス改善の取り組みを推進</p> <p>・保護者に来ていただく行事毎にアンケートを実施し公表する（年5回）</p>
地域での福祉の推進	<p>法人内各施設が、学校教育への協力、ボランティアの受入れ等、福祉マンパワーの養成や住民参加による取り組みを行うための支援</p> <p>・感染症対策を十分にしながら、思いやりポイント制度を積極的に実施する（年12回）</p>